

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	〔1340〕老人福祉支所事務			
予算科目	3 款 1 項 9 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課: 中山地域事務所 電話番号(内線): 967-1111(125)			
記入者情報	所属長: 大本 孝志 担当責任者: 久保田 勝広			
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 19 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	中山地域の高齢者			
根拠法令等	老人福祉法			
事業の目的	中山地域の高齢者に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって高齢者福祉の充実を図る。			
事業の内容	高齢者団体の育成、敬老会・金婚式に向けた支援、老人福祉施設や在宅福祉サービスほか高齢者対策等。寝たきり老人等介護手当・介護用品支給。高齢者共同住宅関係事務。緊急通報装置関連事務。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	老人クラブの育成事業が大半であることから、事業を展開する上においては、民生委員や高齢者相談員等との団体の連携はできているが、各老人クラブにおける総会等の手伝いは、職員が少なく窓口業務が手薄になるため、今後指導助言が必要である。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,138	569	1,138
	合計	0	1,138	569	1,138
人件費 内訳	人工数	0.15	0.14	0.07	0.14
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	1,138	569	1,138
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,199	1,138	569	1,138

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
緊急警報装置設置者件数(総数)	件	66	70	70	69
高齢者共同住居入居者件数(総数)	件	6	6	6	7
敬老会実施件数	件	37	37	27	37
敬老会参加人数	人	727	730	478	705

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	老人クラブ育成の状況として中山地域の老人クラブ件数及び人数を記載する。			
指標設定の考え方	事業の内容が多岐にわたり、また業務の性格が住民ニーズに対応して実施するものであるから、成果指標を設定するのが困難であるが、参考として老人クラブの育成状況・現状を記載した。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	16クラブ(520人)	14クラブ(457人)	0	0
実績	16クラブ(520人)	14クラブ(457人)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本庁担当課と連絡を密にし事業推進が図られているが、職員が少ない中グループ制活用により事業が展開できているため、今後も更なる高齢者福祉の充実を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今後も引き続き関係部署等との連携を密にし、団体に対して適正に指導監督を行うとともに円滑な事業推進を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	高齢化率、高齢者数はますます増加するが、組織団体への関わり方、地域で支えあう仕組みについて、一考の余地あり。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。